

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	動画マーケティング		（ NKT13U ）
講義名（コード）	動画マーケティング		（ NKT13UX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	長谷川 胖	時間数	30
成績評価教員	長谷川 胖	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム 所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	条件の中でマーケティングにおける『メッセージ』のある動画編集が出来る
全体的内容と概要	人の目に留まる動画の撮り方や動画の活用法を、実機と演習で基礎から学びます。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	動画マーケティングを知る	動画・マーケティングってなに?みんなで考えてみよう。動画は今までのフォト・色彩はもちろん基礎の上に成り立つ
2	動画の中での動画をコントロールする	人が見ている動画の中で、視覚が脳に与えるさまざまな要因を考える
3	動画制作には欠かせないものを覚える	人の感情・感覚を刺激する音・音楽・振動などについて考える
4	動画制作に必要な項目を覚える 1	動画製作必要な項目をみんなで考える
5	動画制作に必要な項目を覚える 2	出た項目の整理と撮影・編集・ライティング・台本・脚本 演出・音楽・効果音・衣装・etc.
6	動画制作に必要な項目を覚える 3	サンプル動画を見て、皆の意見を出し合う
7	放送用機材の体験	放送局用機材を体験し、これからの映像についての意見交換
8	編集とは何かを知る	編集についての実技～オンライン編集とオフライン編集を体験
9	撮影・編集を覚える	人に指示された編集・自分で考えた編集～動画の総合的な考え方を学ぶ
10	撮影・編集・完パケを覚える 1	撮影・編集・完パケの実技と実践
11	撮影・編集・完パケを覚える 2	実践で何を学んだか?実践での感想・質問等話し合う
12	撮影・編集・完パケを覚える 3	話し合った事柄を解決し、うデジタル化により映像情報の加工が容易になり使う機材・ソフトにより大幅に時間短縮等出来栄が変わることを考える
13	動画マーケティングの本質を知る	写真 動画 制作する時に技法(テクニック)とか感覚ばかりを多用して見た目は面白そうだけど、そこにメッセージが無ければマーケティングの意味が無いことを考える
14	まとめと解説	自分で考えを整理・理解してメッセージは何か?を知り、ショートムービーを制作
15	まとめと解説	フィードバック(みんながお互いに良い悪いではなくて主張・評価・理解できることがこれからのビジュアルとマーケティングの世界で活躍・生き残る大事なこと。)

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	担当教員のIT業界、写真業界での実務経験を活かし、写真撮影、編集、動画撮影、編集などを実践を中心に指導する。